

# 2017年6月期

## 第3四半期 決算説明会

2017年5月9日

---

株式会社ボルテージ

東証1部 証券コード 3639

# I 3Q 実績

## ■ 3Q 業績概要



売上は前年同期比20%減。  
利益は、主に広告宣伝費等を抑制するも売上減少を吸収できず、85%減。

[単位:百万円]

	今 期			前 期	
	3Q累計	売上比	前年同期比	3Q累計	売上比
売上高	6,857	100.0%	80.0%	8,571	100.0%
売上原価	3,042	44.4%	94.1%	3,232	37.7%
労務費	1,366	19.9%	93.7%	1,457	17.0%
外注費	877	12.8%	81.2%	1,080	12.6%
その他	798	11.6%	115.0%	693	8.1%
販管費	3,748	54.7%	76.6%	4,895	57.1%
広告宣伝費	436	6.4%	39.3%	1,110	13.0%
販売手数料	2,111	30.8%	81.6%	2,588	30.2%
その他	1,200	17.5%	100.4%	1,196	14.0%
営業利益	66	1.0%	15.0%	443	5.2%
経常利益	74	1.1%	17.3%	428	5.0%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (△は損失)	△13	△0.2%	—	218	2.6%

# 貸借対照表



[単位:百万円]

	今期 3Q末	前期末	前期末比
流動資産	3,498	3,705	94.4%
固定資産	1,082	1,199	90.3%
<b>資産</b>	<b>4,581</b>	<b>4,905</b>	<b>93.4%</b>
流動負債	878	1,037	84.7%
固定負債	—	—	—
<b>負債</b>	<b>878</b>	<b>1,037</b>	<b>84.7%</b>
株主資本	3,678	3,868	95.1%
その他の包括 利益累計額	23	0	—
新株予約権	—	—	—
<b>純資産</b>	<b>3,702</b>	<b>3,868</b>	<b>95.7%</b>
<b>負債純資産</b>	<b>4,581</b>	<b>4,905</b>	<b>93.4%</b>

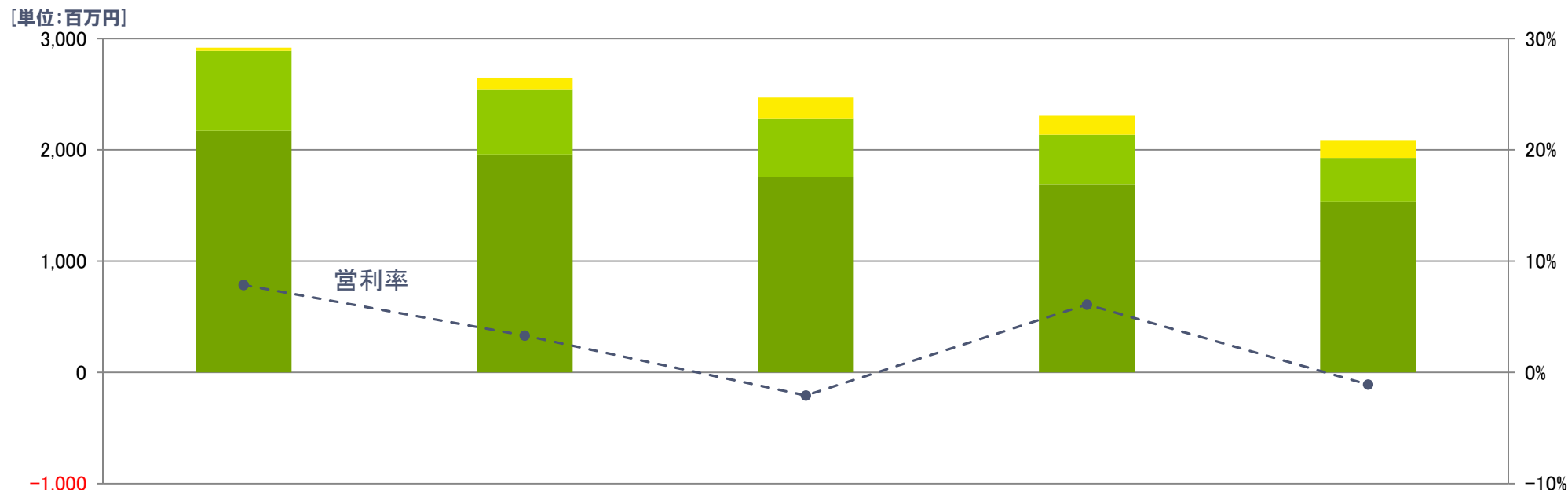
現金及び預金、  
売掛金の減少

主に CM出稿費の支払等による、  
未払費用等の減少

# ■ 事業区分別 Q毎の売上推移



期初からの組織改革として、様々な仕込みを実行中だが、拡大が遅れる。  
 基幹シリーズが前Qに引き続き減少だが、想定通り。



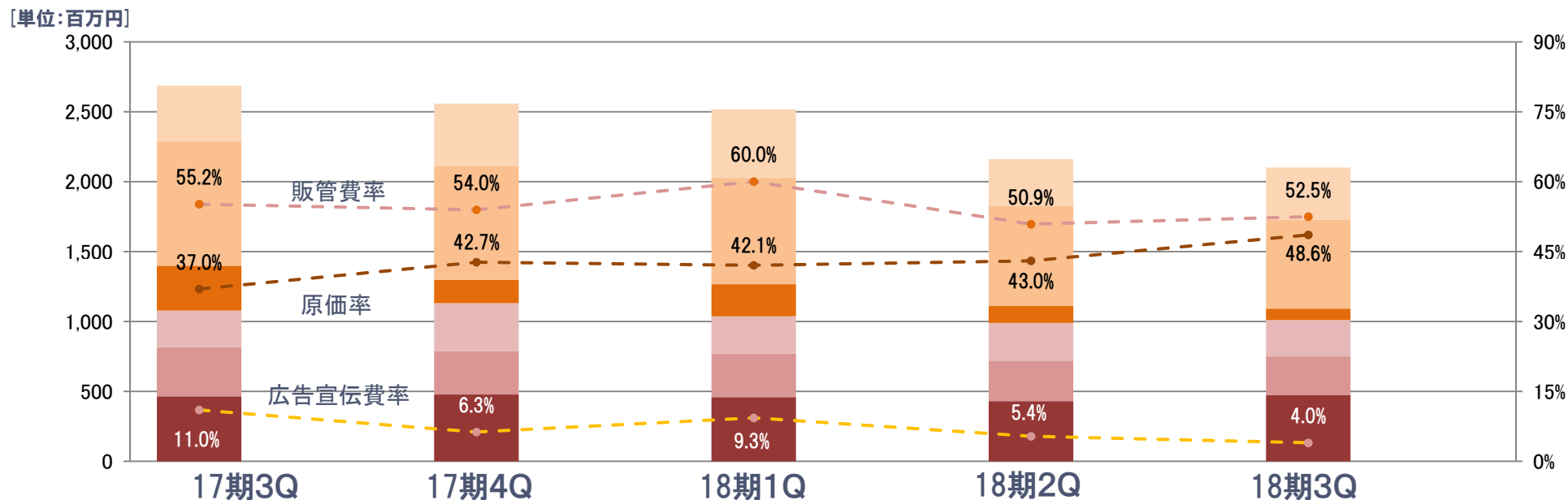
	17期3Q			17期4Q			18期1Q			18期2Q			18期3Q		
	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ
基幹シリーズ	2,170	96%	90%	1,958	88%	90%	1,752	75%	89%	1,692	74%	97%	1,534	71%	91%
新シリーズ	719	196%	81%	586	122%	81%	530	128%	91%	442	79%	83%	392	55%	89%
実験作・その他※	27	84%	369%	103	877%	369%	187	1,151%	181%	170	847%	91%	154	553%	91%
全社	2,918	110%	91%	2,648	97%	91%	2,469	89%	93%	2,305	80%	93%	2,081	71%	90%

※「その他」には、今期第2四半期連結会計期間にローンチした、新技術を用いたタイトルが含まれます

# ■ Q毎の経費・営利推移



原価は前年同期並。広告宣伝費の抑制等により赤字拡大を防いでいる。



	実績	YonY	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ	実績	YonY	QonQ
売上原価	1,078	112%	1,131	108%	105%	1,038	97%	92%	991	91%	95%	1,011	94%	102%
労務費	465	99%	478	95%	103%	459	91%	96%	430	89%	94%	475	102%	110%
外注費	352	115%	310	91%	88%	311	87%	100%	290	78%	93%	275	78%	95%
その他	261	138%	343	170%	131%	267	131%	78%	270	118%	101%	260	100%	96%
販管費	1,609	108%	1,428	99%	89%	1,482	83%	104%	1,173	78%	79%	1,092	68%	93%
広告宣伝費	321	115%	166	75%	52%	230	46%	139%	123	43%	53%	82	26%	67%
販売手数料	889	111%	816	98%	92%	760	89%	93%	712	84%	94%	638	72%	90%
その他	399	99%	446	116%	112%	491	113%	110%	337	94%	69%	371	93%	110%
経費合計	2,688	110%	2,560	103%	95%	2,521	88%	98%	2,165	84%	86%	2,104	78%	97%
営利	229	102%	87	36%	38%	△51	—	—	140	49%	—	△22	—	—

## ■ 3Qの取り組み

仕込み中の案件のうち、3Q中に実施したものは以下の通り。  
業績への寄与は4Q以降を見込む。

ターゲット	コンテンツ名	取り組み	区分
カジュアル	 フェイク	3/15 Android版ローンチ。 芸能界を舞台に、ヒロインが証拠を集め、自分を貶めた人物達を見返す痛快ストーリー。	新シリーズ シークドラマ
	 ワタシドラマ	3/30 Android版ローンチ。 女性が主人公のコメディタッチストーリーを随時配信予定。	実験作 モーション
カジュアルコア	 恋乱	3/21 新章「月の章」ローンチ(既存アプリ内展開)。 サービス開始2周年を機に、影の戦国時代を舞台にした新シリーズを配信。	基幹シリーズ 恋アプF2P
コア	 アニドル	3/1 今夏配信開始を発表。 女性コア層向け新ブランド「ボルテージドリーム」の第1弾。 恋アプと異なり、キャラ同士で展開するストーリーを楽しむ「チームドラマアプリ」。	実験作 チームドラマ
英語	 Lovestruck	3/2 全世界に向け配信開始(iOS・Android版)。 SFスタジオ発のタイトルを集約し、運営・集客の効率化を図る。	実験作 DRAGON

# ■ Q毎の貸借対照表の推移



[単位:百万円]

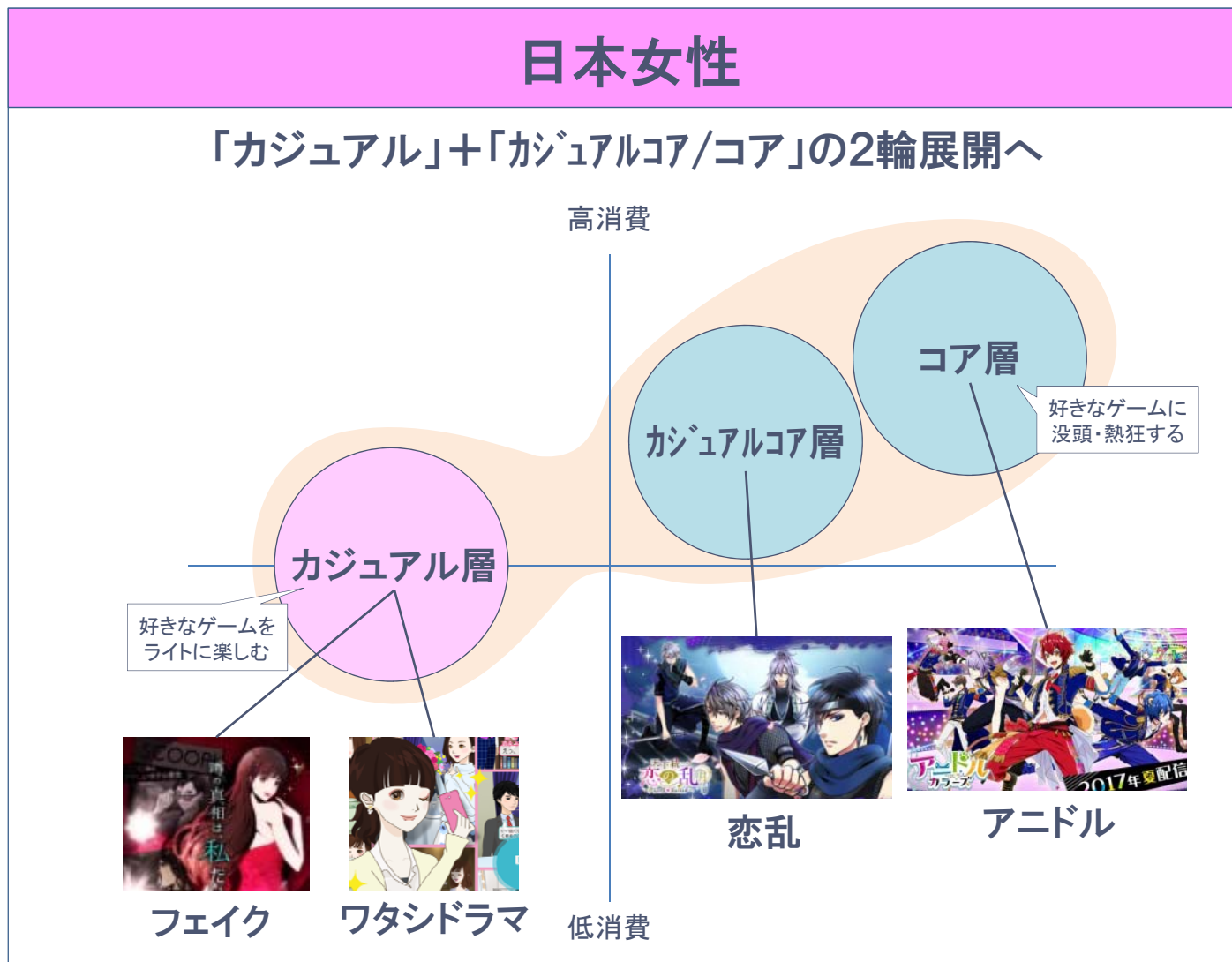
	18期1Q末			18期2Q末			18期3Q末		
	実績	前Q比 増減額	前Q比率	実績	前Q比 増減額	前Q比率	実績	前Q比 増減額	前Q比率
流動資産	3,464	△241	93%	3,517	53	102%	3,498	△19	99%
固定資産	1,203	4	100%	1,160	△43	96%	1,082	△78	93%
<b>資産</b>	<b>4,667</b>	<b>△238</b>	<b>95%</b>	<b>4,678</b>	<b>11</b>	<b>100%</b>	<b>4,581</b>	<b>△97</b>	<b>98%</b>
流動負債	1,038	1	100%	911	△127	88%	878	△33	96%
固定負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>負債</b>	<b>1,038</b>	<b>1</b>	<b>100%</b>	<b>911</b>	<b>△127</b>	<b>88%</b>	<b>878</b>	<b>△33</b>	<b>96%</b>
株主資本	3,633	△235	94%	3,736	103	103%	3,678	△58	98%
その他 包括利益累計額	△4	—	—	31	—	—	23	△8	74%
新株予約権	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>純資産</b>	<b>3,629</b>	<b>△239</b>	<b>94%</b>	<b>3,767</b>	<b>138</b>	<b>104%</b>	<b>3,702</b>	<b>△65</b>	<b>98%</b>
<b>負債純資産</b>	<b>4,667</b>	<b>△238</b>	<b>95%</b>	<b>4,678</b>	<b>11</b>	<b>100%</b>	<b>4,581</b>	<b>△97</b>	<b>98%</b>



# Ⅱ 4Q以降 取り組み

# ■ ターゲット戦略

期初からの組織改革により、  
従来の「カジュアル」向けのみから「カジュアル」+「カジュアルコア/コア」向けに戦略を転換中。



英語

Lovestruck

ハイテク

椅子ドンVR

# ■ 4Q以降の取り組み

仕込み中の案件のうち、4Q以降の実施予定は以下の通り。

ターゲット	コンテンツ名		取り組み	区分
カジュアル		フェイク	4/18 iOS版ローンチ。本格的な導客、イベントを開始。	新シリーズ シークドラマ
		ワタジドラマ	4/25 iOS版ローンチ。今後、随時ストーリーを追加。	実験作 モーション
カジュアルコア		恋乱	新章「月の章」に随時、キャラクターを追加。 また、従来の「華の章」との連動により最大化を図る。	基幹シリーズ 恋アプF2P
コア		アニドル	5/1 事前登録、「カラオケの鉄人」コラボ開始。 今夏リリースに向けて更にプロモーション展開を進める。	実験作 チームドラマ
英語		Lovestruck	今後、随時タイトルを追加。 運営・集客の効率化により、売上の最大化・収益UPを図る。	実験作 DRAGON
ハイテク		椅子ドンVR	4/24～「イオンレイクタウン VR Center」での リアル体験イベント開始。	新立地
		ポケカレAR	4/10 新キャラクターを配信開始し、F2Pモデル化。 今後も、随時キャラクターを追加。	新立地

# ■ 改革の種① コア層

コア層向け「アニドルカラーズ」のローンチ前プロモーションを積極展開。

・3/31 公式サイトオープン



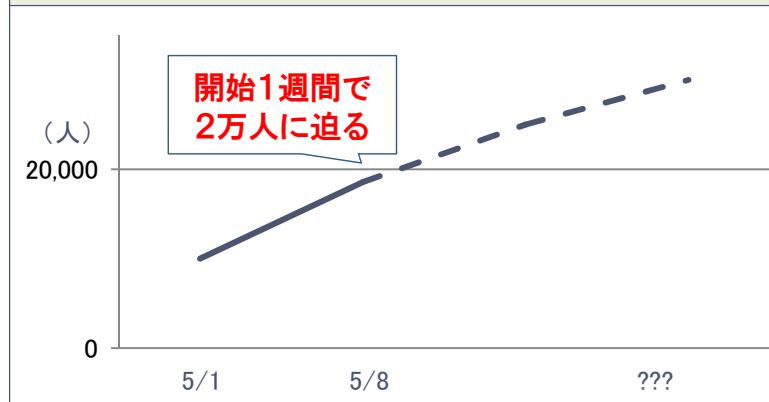
・「カラオケの鉄人」コラボ  
5/1～5/31まで  
オリジナルムービーを  
公開中。



公式Twitterフォロワー数



事前登録者数(5/1開始)



## ■ 改革の種② VR



「椅子ドンVR」をアーケード(越谷市 イオンレイクタウン VR Center※)へ展開。

※常設型VRエンタテインメント施設

・「椅子ドンVR」を身近な施設で楽しめる

【1プレイ:700円】



・ノベルティの配布も実施  
(トレーディングカード、オリジナルパスケース)

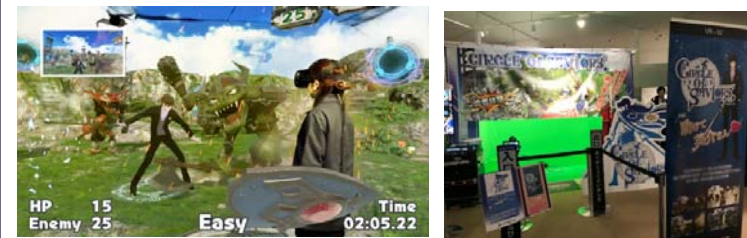


## 他社VRゲームへのIP展開

・サークルオブセイバーズ(PDトウキョウ社)

一ノ宮英介と共闘できる、体感型アクションVRゲーム。  
エンディングでは英介との甘いひと時が楽しめる。

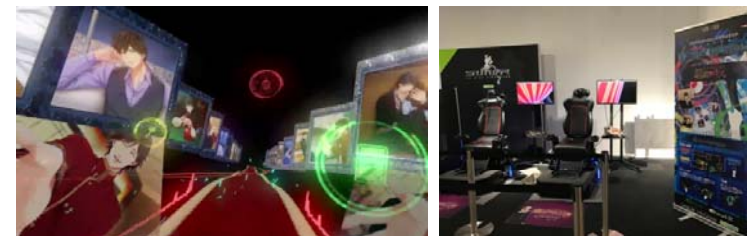
【1プレイ:700円】



・SIMVRHYTHM(しのびや.com社)

「スイートルームで悪戯なキス」の映像・音楽に乗せて、  
VR空間でリズムゲームにチャレンジするインタラクティブアクティビティ。

【1プレイ:800円】



読み物アプリ「Lovestruck」が本格ローンチし、出足好調。

・SFスタジオ発のタイトルを集約



4本目「Love & Legends」は  
中世の騎士が登場するファンタジー

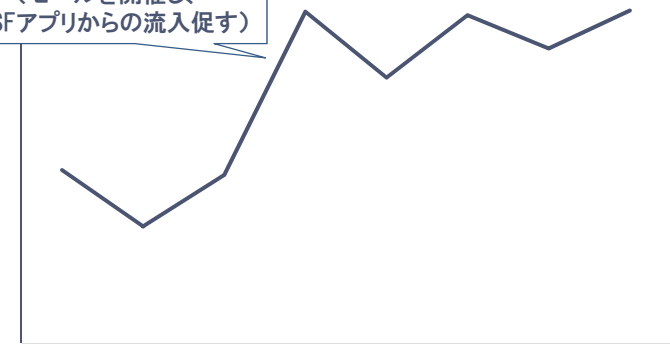


5本目「Speakeasy Tonight」は  
1920年代の禁酒時代が舞台  
※USオリジナルタイトルをリニューアル



売上が好調に推移

4月中旬より特に好調に  
(セールを開催し、  
他SFアプリからの流入促す)



4/1

4/30

ランキングも好調に推移

最高13位を記録  
(App Store「Game-Word」  
カテゴリ 4/24時点)



4/1

4/30

# ■ 新規アプリ ローンチ予定



# 用語説明



用語	意味
基幹シリーズ	恋愛ドラマアプリのうち、「F2Pシリーズ」と「P2Pシリーズ」として配信しているものが属する。
新シリーズ	ターゲット層や制作技術を基幹シリーズから派生させたシリーズ群。 2017年6月期は、「シークドラマシリーズ」「L10Nシリーズ」が該当する。
実験作	ターゲット層や制作技術が基幹シリーズ・新シリーズとは異なるシリーズ群。 2017年6月期は、「P2P DRAGONシリーズ」「F2P US REALシリーズ」「男性向けサスペンスシリーズ」「パズルアクションゲームシリーズ」「モーションシリーズ」が該当する。
新立地	ターゲット層も制作技術も基幹シリーズ・新シリーズとは異なる新しい取り組み。 2017年6月期は、VRやAR技術を用いる「ハイテク」、グッズや舞台などの「ライブ」分野に取り組んでいる。
F2P	Free-to-Playの略称。基本プレイ無料・アイテム課金制のコンテンツ。
P2P	Pay-to-Playの略称。ストーリー単位の個別課金制のコンテンツ。
シークドラマ	ヒロインが証拠を集め、世の中の嘘や偽りを暴いていくストーリーシリーズ。
L10N	北米市場向けアニメ絵であり、日本語恋アプを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記。
US REAL	北米市場向けリアル絵のコンテンツ(旧表記USオリジナル)。
DRAGON	北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。 北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)。
モーション	株式会社ボルモが開発するモーションタイプのコンテンツ。 2017年6月期第1四半期より、呼称をアニメーションから変更。



## ■ 参考資料(会社概要)



社名	株式会社ボルテージ
代表取締役社長	津谷祐司
経営理念	アート&ビジネス
企業ビジョン	恋愛と戦いのドラマで、世界へ
設立	1999年9月
上場日	東証1部 :2011年6月 東証マザーズ :2010年6月
従業員数	434名(2017年3月末時点)
子会社	海外:Voltage Entertainment USA ,Inc. 国内:(株)ボルモ、(株)ボルスタ、(株)ボルテージVR

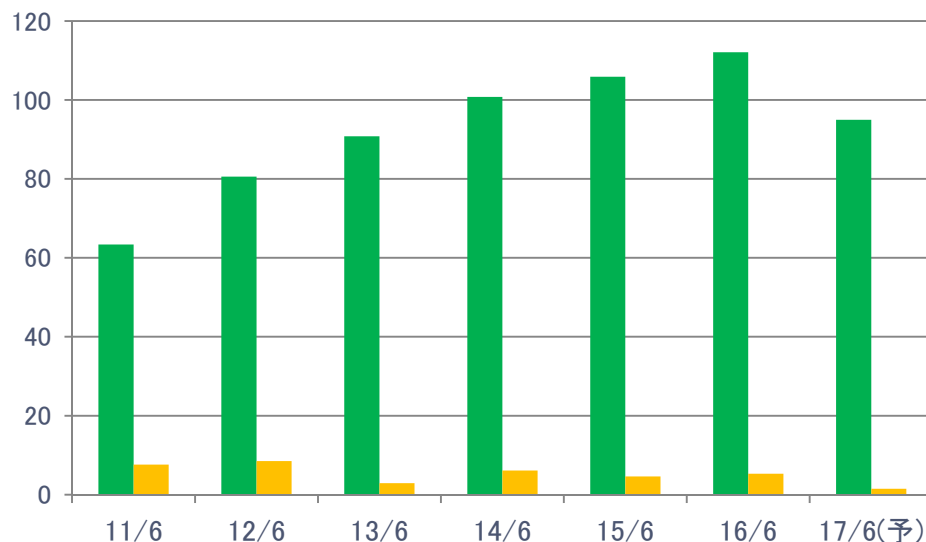
# ■ 参考資料(財務ハイライト、株式の状況)



## ・直近の売上高・営業利益の推移

(通年、17年6月期は予想)

(億円)



売上	63.4	80.6	90.8	100.8	105.9	112.1	95.0
営業利益	7.6	8.5	2.9	6.1	4.6	5.3	1.5

## ・株式の状況(2016年12月末時点)

発行可能株式総数	15,120,000株
発行済株式数	5,196,673株
株主数(単元のみ)	5,012名

## ・大株主の状況(2016年12月末時点)

株主名	株式数(株)	所有割合(%)
津谷 祐司	967,800	18.62
津谷 奈々子	368,200	7.08
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	200,000	3.84
CHASE MANHATTA N BANK GTS CLIE NTS ACCOUNT ESCROW	136,100	2.61
神林 忠弘	131,700	2.53
楽天証券株式会社	112,600	2.16
藤原 治	100,500	1.93
株式会社サードストリート	100,000	1.92
小山田 壮権	65,000	1.25
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	63,700	1.22

# 株式会社ボルテージ



- ・本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき願います。
- ・本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- ・本資料で記載されている会社名・商品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。